
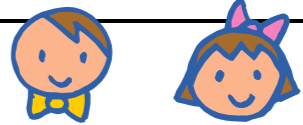





入院診療計画書 (けいれんクリニック)

患者氏名 _____ 様

<<DYTODAY>>

神戸市立医療センター中央市民病院 小児科

経過・日時	1日目(入院日)	2日目～退院日まで	退院日
治療／処置	点滴を挿入します。 状態に合わせて下記薬剤の投与を行います。	症状の経過や尿量、食事摂取量に合わせて点滴を減量・終了します。	退院後は必要に応じて外来治療を続けます。
薬剤	けいれん発作に対しては状態に応じて抗けいれん薬（点滴、内服、坐薬）を、発熱時には解熱剤（坐薬・内服）を使用します。 薬剤師は医師と情報共有して、薬物療法を安全に進めていきます。	症状・経過に合わせて、治療内容を変更します。	必要に応じて退院時に内服薬等を処方します。
検査	必要に応じて行います。		
安静度	発熱中は室内でのベッド上安静を原則とします。 解熱後は症状の改善を見ながら、徐々に日常生活に近づけた安静度を考慮していきます。		退院後に外出、登園・登校等について制限がある場合は主治医より説明を行います。
食事	医師の許可が出れば水分より開始します。 栄養士と協働のもと、年齢と症状に合わせた食事を用意します。症状の回復に合わせて食事内容を変更できます。 食事量を所定の用紙に記入して下さい。 ※食物アレルギーのある方はスタッフまでお伝え下さい。		
清潔	基本的に身体拭きは2日に1回、おしり洗いは毎日行います。 体調の十分な改善があればシャワーや沐浴を行うことができます。		
排泄	室内のトイレを使用してください。必要時は尿器・おまるを使用できます。 ※尿量など必要事項を所定の用紙に記入して下さい。		
看護	体温、血圧、酸素飽和度などの測定を行うと共に、適宜意識の状態を確認します。 酸素投与など適切な対処を行います。	必要に応じて、パンフレットを用いたけいれん発作時の対応方法についての説明を行います。	
患者様とご家族への説明	入院の見通し、治療方針について説明します。	適宜状態の説明を行います。	退院後の方針や生活などについて説明を行います。